

10-2 考察

(1) 駅前の通行量について

川崎駅前の交通量の特徴を、「川崎日航ホテル前」、「石敢當前」、「駅広中央横断歩道」、「タワーリパーク前」、「さいか屋前」、「川崎中央広場リクルートビル前」の6か所の交通量からみる。全体的特徴としては、駅前から石敢當前にかけての駅広内部は、平日、祭日ともに4万人から5万人の人が移動している。駅広の外延部となると2万8千人から3万人程度となる。平日と祭日を比べると、祭日の通行量が多く、今回の調査の特徴としては、平日では17時～18時にかけてピークをむかえるように通行量が増加していく傾向で、祭日は14時から16時にかけてピークを持つ傾向が見られた。

(2) 東口商店街エリアの通行量について

商店街において最も通行量が多かったのは、銀柳街の休日で34,689人/日で、次いで同じく銀柳街の平日の27,638人/日である。さらにチッタ通りの休日の25,488人/日、銀座街の平日の16,852人/日、銀座街の休日の15,286人/日、チッタ通りの平日の13,400人/日が1日あたり1万人を超えている。銀座街—銀柳街—チッタ通りという駅前の南北の流れが大きいことがわかる。より東側の南北の流れとしては、砂子通り（旧東海道）が平日5,469人/日、休日4,632人/日、平和通りが平日